

北陸地方非常通信協議会 第62回総会及び表彰式を開催

—平成25年度事業計画を決定(総会) 協議会活動に貢献のあった2団体を表彰(表彰式)—



会長挨拶 齊藤北陸総合通信局長

平成25年6月19日(水)金沢市内において、北陸地方非常通信協議会第62回総会を開催しました。また、この1年間に災害時の情報伝達の確保に貢献のあった2団体を会長から表彰しました。(※受賞者の都合により、会場での賞状授与は1団体)

冒頭、会長の北陸総合通信局長 齊藤一雅から、平成24年度の北陸地方非常通信協議会の活動結果として、中央非常通信協議会が提案している非常通信ルートの見直し等活動強化の課題を重点的に進めてきたこと、北陸地方非常通信協議会の独自の活動も織り交ぜて実施したことにより、災害時への備えとして一定の成果を作りあげて来ていることと、今後の活動として、こうした活動が災害時に真価を発揮するためにも、災害時の非常通信の確保に向けて平時からの訓練の強化を進めて行くことが重要であることが述べられました。



第62回総会 堀川議長

《平成24年度北陸非常通信協議会の取り組み項目抜粋》

- 各市町村(役場)と各県庁の間の非常通信ルートの見直し、現行化(全市町村)
- 全国非常通信訓練(富山、石川、福井の各県内で各2ルートを設定、計6ルート)
- 各市町村(役場)と市町村内の支所の間の非常通信ルート(新規策定:約4割の市町分、北陸非常通信協議会独自活動)

総会では、株式会社NTTドコモ 北陸支社 ネットワーク部 災害対策室長 堀川敬一氏を議長に選出し、平成24年度の活動報告と平成25年度の事業計画及び役員が満場一致で承認されました。

総会に引き続き、平成24年度の1年間に、非常災害時の情報伝達の確保に多大な功績を挙げられた2団体に対して、北陸地方非常通信協議会会長から表彰状を授与し、日頃の活動に敬意と感謝を表しました。

今年度表彰された方々とその事績は別紙のとおりです。



受賞者記念撮影
左から堀川議長、齊藤会長
津幡町 長(ちょう)総務部長

担当 無線通信部 陸上課 076-233-4480

別紙

平成25年度 北陸地方非常通信協議会 会長表彰者 一覧

(順不同 継承略)

表彰された団体	事 績 の 概 要
津 幡 町	防災・災害情報を町民に伝達するため、デジタル防災行政無線による町内の移動系ネットワークを構築し、地域住民への災害時における情報伝達・通信の確保に多大なる貢献をした功績
氷 見 市	防災・災害情報を市民に伝達する防災行政無線のデジタル化を推進するため、デジタルMCA通信システムを用いた、同報系及び移動系ネットワークを構築し、災害時における通信の確保に多大なる貢献をした功績